

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

直接法による定額法で減価償却を実施している。

(2) 消費税率の会計処理

消費税込額で表示している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次の通りである。

科 目	前期末残高	当期末増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
周年行事引当資産	1,000,000	500,000	0	1,500,000
減価償却引当資産	720,000	104,727	0	824,727
退職給付引当資産	3,000,000	300,000	0	3,300,000
公益法人移行引当資産	0	300,000	0	300,000
小 計	4,720,000	1,204,727	0	5,924,727
合 計	9,720,000	1,204,727	0	10,924,727

3. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は次の通りである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,337,530	824,727	512,803
合 計	1,337,530	824,727	512,803